

年頭のごあいさつ

周防大島町長 椎木 巧



明けましておめでとうございます。

町民の皆様方におかれましては輝かしい希望に満ちた新春をお迎えになられたことと心からお喜び申し上げます。平素は町政の推進につきましても格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

私は、周防大島町長として初めての新春を迎え、改めて多くの町民の皆様からいただきました信頼と付託の重みをしつかりと心に受け止め、初心を忘れることなく、周防大島町の振興発展のため全力を傾注してまいることが誓ったところであります。

さて周防大島町が誕生して四年余りが経過いたしました。この間、中本富夫前町長をはじめ関係各位のご努力により町政は確実に進展しその礎が築かれてまいりました。これからはこの礎石の上に合併してよかったと実感していただける町づくり、即ち住民生活に密着した事業を重点に、まじめに、誠実に、地道に、謙虚に、そして確実に、をモットーに新たな決意と情熱をもって臨んでまいります。

しかしながら昨年よりアメリカの金融危機に端を発した未曾有の金融資本市場の変動や原油、原材料価格の高騰による日本経済の急速な減速は、今までに予想だにできなかったような事態となっており、今後の日本経済に大きな不安を抱いた中で新年を迎え、地方自治を取り巻く環境も益々厳しさを増すことが予想されております。このような中でこれまで以上に経済性、効率性、有効性を徹底的に追求し町民の皆様方の立場に立った行財政改革を進めてまいりたい決意であります。

今年も、教育委員会を中心に保護者、住民、議会と合併後四年間をかけて議論と対話を進めてまいりました町内八中学校を四中学校への統合が四月にスタートします。生徒の視点に立ち適正な中学校の教育環境の充実に向け取り組んでまいりますので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

次に、懸案となっておりました大島病院の移転新築につきましても多くの議論と協議の上、昨年の十二月議会定例会において補正予算のご議決を賜り、ようやく着工の運びとなったところであります。公立病院を取り巻く経営環境は厳しいものがありますが、高齢者や一人暮らしの多い周防大島町の住民の健康を守るという町立病院の果たす役割を考えますとき老朽化した大島病院の移転新築は是非とも必要な事業であります。平成二十二年夏の開院を目指し進めてまいります。

また、合併後取り組んでまいりました防災行政無線は、今年の夏頃から運用開始となります。町内全域に瞬時に防災情報を伝達することは勿論ですが、行政情報を町民の皆様と共有する大きな手段としても活用できるものと期待をしております。

これらは何れも町民皆様の安心安全につながる事業であります。生涯を健やかで生き生きと安心して暮らせる地域社会の実現に向け、皆様方と共に更なる町づくりに邁進してまいりますので尚一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

終わりに、町民の皆様方のご多幸、ご活躍をご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。